

市有林の伐採・搬出にあたっての留意事項

市有林の伐採・搬出にあたっては、林地保全及び土砂流出等の災害防止の観点から下記事項に十分留意されますようお願いいたします。

1 枝条等の処理方法について

枝条等の残材は、大雨等で流出しないよう溪岸の浸食高、植生の生育範囲等から推定される最大水位高から、さらに2 m程度の余裕をもって溪流敷外に搬出すること。

土場敷及び作業道沿線には、枝条等の残材が散乱放置することのないよう整理すること。

また、残置場所を分散させたり、杭を打ったりするなど、再造林時の支障とならないよう適切に処理すること。

2 搬出路及び土場の開設について

搬出路及び土場の開設は、切土や盛土等の土工を必要最小限に抑えるなど、極力地形に沿った形状とすること。

搬出路には、汚濁流が流れないように水切りをつけること。

また、売払物件の範囲外の隣接地等を使用する際は、当該土地の所有者の承諾を得て使用することとし、使用に係る費用等は負担すること。市有地の場合には、市に協議の上、搬出路開設に係る支障木等について市の提示する金額で買取ること。

3 道路の損傷防止について

雨天時や雨天直後は、搬出作業を極力控えるなど、道路の損傷防止に努めること。また、道路を損傷した場合には、補修を行うこと。

4 アカマツの伐採について

アカマツを伐採、搬出する際は、岩手県の「松くい虫対策としてのアカマツ伐採施業指針」を遵守すること。